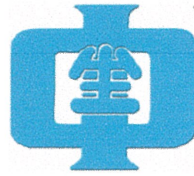


長 坂



平戸市立生月中学校
学校だより第14号
(令和元年 7月)

文責 西澤 庄藏

薬物乱用防止教室を実施し、危険ドラッグについて学びました。

07/12（金）3年生の保健体育の授業で専門家を招いての薬物乱用防止教室を実施しました。

近年、インターネット利用の拡大から、危険ドラッグが簡単に入手できたり安易に利用したりできる環境下にあると言われています。この状況に憂慮する声を、ここ1・2年、よく聞くようになりました。そこで、健康教育の一環として、薬物乱用による心身への影響、依存症や疾病との関連、社会生活への影響について理解させることをねらいとして、この教室を実施しました。今回も（昨年度同様）他校で従事する学校薬剤師の近藤先生をお招きして、専門的な見地から、より詳しい授業が行われました。薬物に対して適切な行動選択と意思決定ができることもねらいとして、後半はグループディスカッションを取り入れて「考える」「表現する」授業が展開されました。



←写真（右）は生徒の実演の様子です。

断り方のシュミレーションを通じて実際の場面での難しさを体感しました。

危険ドラッグだけではなく、アルコールやタバコの依存性についても学び、有意義なひとときとなりました。

夏を実感する競漕船（せりぶね）乗船体験を行いました。

07/08（月）・12（金）の両日、町内の館浦港にて競漕船乗船体験の学習を行いました。この取組は、来る 07/28（日）開催の地域行事「館浦競漕船大会2019」出場も兼ねて、2年生の総合的な学習の時間の授業として学習しています。両日とも館浦漁協の方々をはじめ学社融合コーディネーター会議を通じてご派遣いただいたの方々のご指導のもと、実際に乗船しての学習が行われました。

活動を通じて、生月地区のよさを再確認し、地域住民の一人としてふるさとに貢献する気持ちが少しでも高まることをねらいとしています。館浦地区の競漕船大会は、23年前から、「漁業の町生月」の伝統継承も兼ねて、地域興しの一環として開催されている催しです。本校も、時を同じく、長年、この競漕船乗船体験の学習を行っています。

乗り始めは、方向転換もままならない状態で、大人の方々がリードしていました。もちろん、本番は、生徒たちだけで漕ぎます。機械化が進んだ今日、不便さを味わうことや思うように操作ができないことを通じて、地域の先輩の偉大さを少しでも体感できたら、地域に出かけて学習した甲斐があったのではと考えます。実際は、小学校のころに競漕船乗船を体験済みとのことで、少しの時間の練習で、スイスイと航行する班もあり、本番に期待が寄せられる活動ぶりでした。

本番【07/28（日）】は 09:00 開会です。開会直後のプログラム1番にレースが行われる予定です。残念ながら県中総体と期日が重なり、残留する2年生が3チームを編成して競技を行います。2年生が全て揃うわけではありませんが、総合的な学習の時間の成果をご覧いただきたいと思います。どうぞ、ご観覧・ご声援願います。



【お知らせとお願い】

いよいよ、この週末から夏休みに入ります。夏休みを前に生活心得「夏休みの生活について」文書を生徒はもちろん、ご家庭向けにも配付しています。ご一読の上、我が家のネットルールなど、お子様との約束事の確認にご活用願います。